



5年連続で国基準の待機児童ゼロを達成しました。

～働きながら幼稚園という選択へ～

1 待機児童について

本市では子育て世代にも魅力的な「東京に隣接した子育てしやすいまち」として選ばれるまちづくりを進めるために「待機児童対策」を最優先課題として取り組んでまいりました。平成31年4月には幼児教育課が新設され、10月からは社会全体で子育て世代を応援する“幼児教育・保育の無償化”も始まりました。

小規模保育施設の整備や送迎保育ステーションの拡充を進めるとともに、小規模保育施設卒園後の進路に、働きながら幼稚園を選択できるよう、平成27年度から幼稚園での長時間の預かり保育を実施できる体制整備を促進し、昨年9月には流通経済大学で「幼稚園預かり保育セミナー」を実施し保護者への周知に努めた結果、平成28年度から5年連続で、令和2年4月の国基準の待機児童ゼロを達成することができました。

保育園などへの申込については9,504名で前年比329名の申込の増となっておりますが、昨年の前年比551名に比べると222名減少しています。小規模保育施設卒園児の進路は、幼稚園を選択した保護者が昨年の88名から147名に大幅に増加し、また、認可保育園等から幼稚園を希望した園児も含めると約200名となります。これまでの幼児教育・保育施策により3歳以降の保育園への申込が昨年よりも減ったことが要因と推察されます。

入所保留者は昨年の210名から288名と78名ほど増加しており、内訳としては、1歳児117名、2歳児が76名で、全体で67%となっております。また、保留者のうち、特定の保育園のみを希望している方が約60%の170人で緊急度が高い方々については全て受入ができたものと考えております。

次に、希望達成率ですが、第1希望、第2希望、第3希望までに入所できた割合が83%で、前年度、前々年度と同率となりました。兄弟がいる世帯のうち90.2%が同一施設に入所しており前年度と比して若干ではございますが改善しております。

令和2年度からは、保育の必要性の高い方が年度途中において転入しても安心して働き続けることができるように、0歳から2歳については小規模保育施設を整備することや、3歳からは幼稚園の長時間預かり保育を利用することで、お子様にあった特色ある幼児教育を受けることができるように本市の幼児教育・保育施策に取り組んでまいります。



(1) 待機児童の現状 (人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
国基準待機児童	0	0	0	0	0
入所保留者（実質的待機児童）	143	85	118	210	288

※ 令和2年度入所保留者（実質的待機児童）の内訳

令和2年度入所保留者（実質的待機児童）		288 人
1・希望園限定		170 人
2・求職状況不明		70 人
3・幼稚園預かり・一時特定保育・認可外等施設利用者		16 人
4・その他（育児休暇含む）		32 人

(2) 申込状況 (人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
申込者	7,307	7,926	8,624	9,175	9,504
前年比	増576	増619	増698	増551	増329

(3) 入所希望達成率の推移

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
第1希望	65%	59%	59%	58%
第2希望	18%	15%	15%	16%
第3希望	10%	9%	9%	9%
計	93%	83%	83%	83%

(4) 兄弟がいる世帯の入所状況

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
兄弟で入所している世帯	1,341世帯/6,859世帯	1,463世帯/7,267世帯	1,591世帯/7,499世帯
うち兄弟児が同一施設に入所する世帯	1,260世帯 (94.0%)	1,305世帯 (89.2%)	1,435世帯 (90.2%)

(5) 小規模保育施設卒園児童の進路先

	小規模 卒園児数	進路先					
		認可保育園、認定こども園		幼稚園		その他 (転出、自宅など)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
平成28年度卒	209	154	73.68%	44	21.05%	11	5.26%
平成29年度卒	269	198	73.61%	60	22.30%	11	4.09%
平成30年度卒	388	288	74.23%	88	22.68%	12	3.09%
平成31年度卒	499	321	64.33%	147	29.46%	31	6.21%

※保育施設に入所入園していた児童のうち、令和2年4月から約200人（小規模卒含む）が幼稚園入園を予定



2 小規模保育施設から幼稚園利用の促進を中心とした待機児童対策

(1) 小規模保育施設の整備（0～2歳児）※松戸市は県内1位の整備数

○保育施設の市町村比較【令和2年4月1日時点での見込み（）内は前年度比】

	松戸市	千葉市	船橋市	市川市	柏市
小規模保育施設	78施設 (+7施設)	71施設 (+6施設)	25施設 (+2施設)	38施設 (+11施設)	11施設 (+2施設)
保育園 (認定こども園含む)	76施設 (+2施設)	240施設 (+15施設)	123施設 (+6施設)	136施設 (+12施設)	79施設 (+2施設)

(2) 年度途中での小規模保育施設の整備（入所保留児童への積極的な対応）

平成28年4月以降、5年連続で国基準での待機児童ゼロを達成できましたが、入所保留児童は1歳、2歳児を中心にまだ多い状況があります。また、年度途中に転入してきた緊急性の高い方への対応も必要です。これまで毎年4月の開園を目指した整備を進めてきましたが、新年度は年度途中の10月にも開園し、入所保留児童にも積極的に対応していきます。（10月に7ヶ所 約130人の定員確保）

●小規模保育施設の物件確保と保育士確保に向けた新たな取り組み

【新規事業】施設整備促進補助金

※保護者にとって利便の良い限定地域に優良物件を確保

保育需要は今後も一定期間で伸びていくことが想定される中で、保護者にとって利便の良い優良物件を確保していくことが大きな課題となります。そのため、限定地域内の優良物件を所有する不動産所有者に対し、固定資産税及び都市計画税相当額を5年間補助します。

【新規事業】保育士労働環境改善支援補助金

※余裕を持った勤務ローテーションで、働きやすい職場づくりを支援

現在の保育士の就職活動におきましては、学生が人材紹介会社に登録するといった活動が目立つようになり、採用する保育施設においても、人材紹介会社の活用が増えています。人材紹介会社の活用は、広告などに比べて、確実な保育士確保の手段となりますが、保育施設での費用負担は大きくなるため、紹介会社への紹介手数料の一部を支援します。保育施設が保育士を確保し、余裕を持った勤務ローテーションを組むことができれば働きやすい職場となり、さらなる保育士確保につながります。

※上限50万円／1人あたり 2人まで



(3) 幼稚園での長時間預かり保育の実施（3歳から5歳児）

※34園中19園で実施

【新規事業】私立幼稚園預かり保育セミナー業務

※「働いていても幼稚園」の「市民周知」に向けた新たな対応

- ・幼稚園預かり保育の助成制度や施設等利用給付の仕組みを掲載した広告作成を委託し、幼稚園と市が一体となり、広く市民に周知します。
- ・預かり保育のセミナーの開催に向けた広告を作成し、参加者の拡大を図るべく広く市民に周知します。

【新規事業】幼稚園教諭免許更新補助金

※幼稚園教諭の離職防止にかかる対応

- ・幼稚園教諭の免許更新にかかる費用を補助することで、教諭の離職防止を図り経験豊かな質の高い教育を提供できる仕組みを整えます。

【新規事業】幼稚園教諭の人材確保支援

※幼稚園教諭の人材確保のためのPR

- ・幼稚園教諭人材確保に向けた広告の作成を委託し、松戸市で幼稚園教諭として働くことの魅力をPRします。

(4) 送迎保育ステーションの拡充（幼稚園の利用促進）

既設の松戸駅前（27年10月開設）、新松戸駅前（30年4月開設）に加え、この4月からは八柱駅前、東松戸駅前にも新たに開設します。新年度から送迎保育ステーションを活用して幼稚園に通う児童は約70名となります。特に松戸駅前の保育需要は高く、定員近くまでの利用者が見込まれています。そのため、新年度にもう1か所、送迎保育ステーションの整備を進めていきます。

【問い合わせ先】

（保育に関すること） 子ども部保育課 ☎047-366-7351

（幼稚園に関すること） 子ども部幼児教育課 ☎047-701-5126